

# 佐々木家の車について

## 1. 背景

現在使用中であるCX-3は、残価設定型ローンにて返済中。  
だが、この支払いを家計から続けていくことは困難。  
車の所持の方法を変えたい。

### 1 - 1. 必要経費

- 約7000円/月 + 140000円×2/年
- 保険料が約9万円
- 税金が約3万円
- トータル：約50万円/年

### 1 - 2. 残価設定ローンの終了方法

- 健太と康佑が車の使用を希望しているため、まず、マツダに**この形のローンでの他者への引き継ぎの可能性を確認したが、それは不可能**とのこと。
- 結果として、早期完済という方法しかなく、7月10日までであれば約138万円の支払いとのこと。

### 1 - 3. 健太、康佑への車の移譲

- 上記のように、いったん残価設定ローンを終了する必要があるため、138万円程度の一括支払いが必要。
- 立替えることは可能だが、**若いうちにあまり大きな借金を抱えることには賛同し難い。**

## 2. 法人としての車の利用

6月から合同会社を設立したため、その法人として車を利用したい。

- CX-3を利用
  - CX-3を法人に売却（上記の支払いと同程度の金額を法人から個人に支払った形）して、その所有を個人から法人に変更
  - 減価償却という形で赤字として形状する必要があり、手間がかかる。
- KINTOの利用

- キントであれば、120～150万/2年程度の支払いで、保険、税金全て込みで使用可能。
- リースであるため、**法人としての経費処理が非常に簡単**。

## 3. 今後への提案

### 3－1. 車を中古車として売却

先日、CX-3をAppleにて見積もりを取ってもらったら、最近は何故か**この車の価格が高騰しており、190万円程度での買い取りが可能**とのこと。

### 3－2. 剰余金の分配

売却後の差分を剰余金として、関係者の四人で分配。  
10万円/人程度にはなるかなと思う。

### 3－3. 健太と康佑への提案

現状で比較的に新しい車がほしいのであれば、上記の剰余金も利用しながら、KINTOのようなシステムでの支払いを検討してみてはいかがでしょうか。  
そして、古いおじいちゃんからの車を康佑に譲る。  
このあたりが、現状では一番妥当ではないかと思います。  
いかがでしょうか。